



## 2013年3月期 第3四半期 決算説明会



新型 Mazda6 ワゴン (欧州仕様車)

マツダ株式会社  
2013年2月6日

# 本日の説明内容

---

- 総括
- 2013年3月期 第3四半期累計実績
- 2013年3月期 見通し
- 構造改革プラン アップデート
- まとめ





# 総括

## 総括 (1) - 第3四半期累計実績

---

- ▶ 第2四半期に引き続き、第3四半期も、全ての利益レベルで黒字を達成
- ▶ 売上高は1兆5,352億円、営業利益は196億円、当期純利益は256億円
- ▶ 販売好調な新型CX-5が、業績改善に大きく貢献
- ▶ グローバル販売台数は、前年同レベルの89万3千台
- ▶ 新型CX-5は「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。グローバルでの販売も拡大
- ▶ SKYACTIV搭載車両第二弾 新型Mazda6/アテンザも日本など導入市場で受注好調

## 総括 (2) - 通期見通し

---

- ▶ 売上高及び全ての利益レベルで上方修正
- ▶ 売上高2兆1,900億円、営業利益450億円、当期純利益260億円の見通し
- ▶ 新型Mazda6/アテンザを日本・欧州に引き続き、北米など主要市場へ導入
- ▶ 新型CX-5、新型Mazda6/アテンザなどSKYACTIV搭載車両が、収益拡大に大きく貢献
- ▶ グローバル販売台数は、125万台の見通し
- ▶ 構造改革プランは、着実に進捗



# 2013年3月期 第3四半期累計実績

# 2013年3月期 財務指標

(億円)	2013年3月期			第3四半期累計 対前年増/(減)
	上期	第3四半期	累計	
売上高	10,235	5,117	15,352	1,169
営業利益	115	81	196	739
経常利益	4	210	214	795
税引前利益	73	228	301	966
当期純利益	57	199	256	1,384
売上高営業利益率	1.1 %	1.6 %	1.3 %	5.1 pts
為替レート				
US\$ / 円	79	81	80	1
€ / 円	101	105	102	(9)

# グローバル販売台数

	2013年3月期			第3四半期累計 対前年増/(減)
	上期	第3四半期	累計	
グローバル販売台数 (千台)				
日本	110	40	150	13
北米	182	88	270	4
内 米国	127	68	195	9
欧州	85	34	119	(10)
中国	90	39	129	(36)
その他市場	146	79	225	31
内 オーストラリア	51	26	77	12
内 ASEAN	49	29	78	30
合計	613	280	893	2



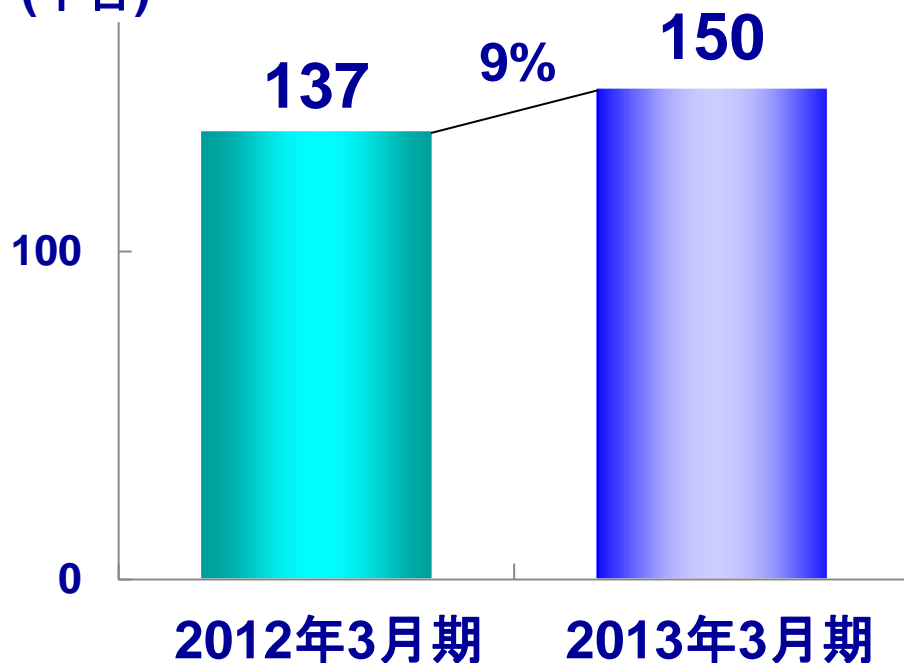
# 日本



新型 アテンザ

第3四半期累計 販売台数

(千台)

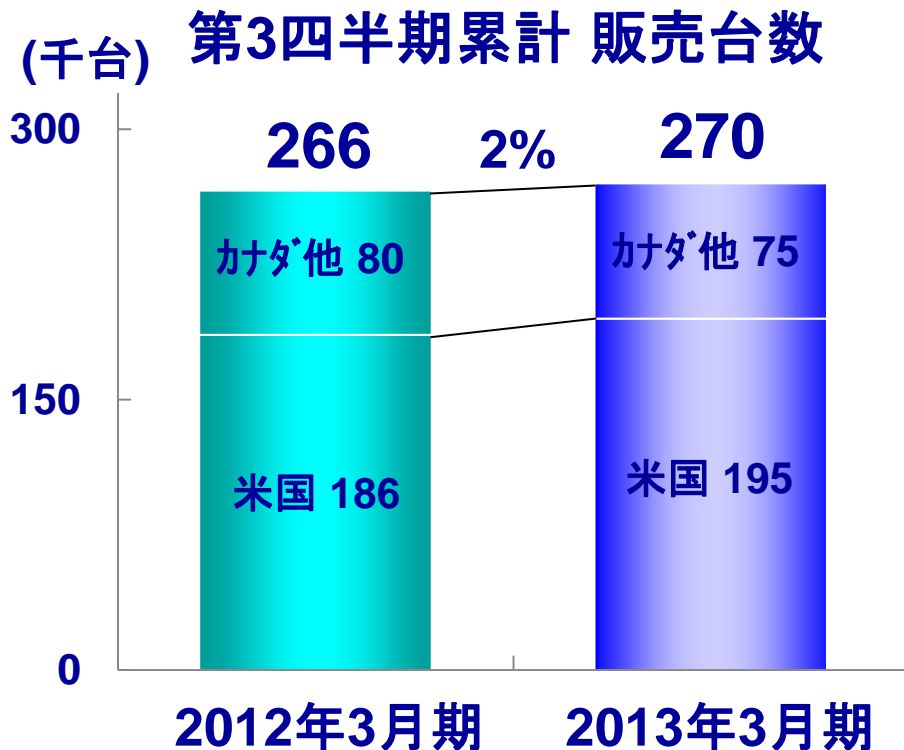


- ▶ 第3四半期累計の販売台数は、対前年9%増の15万台
- ▶ 新型CX-5は「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。2012年SUV国内販売台数第1位を獲得
- ▶ 新型アテンザは出足好調
- ▶ 新型CX-5、新型アテンザのディーゼル販売比率は、当初見通しを過達。新しいディーゼル市場を創出

# 北米



- ▶ 第3四半期累計の販売台数は、対前年2%増の27万台
- ▶ 米国: 対前年5%増の19万5千台
  - 新型CX-5及びMazda3 SKYACTIV搭載モデルの販売増が貢献
  - 2012年暦年では、SKYACTIV搭載車が全体の約50%を占め、新商品への転換をリード
  - フリート比率及びインセンティブ抑制の活動など、ブランド価値向上の施策を継続

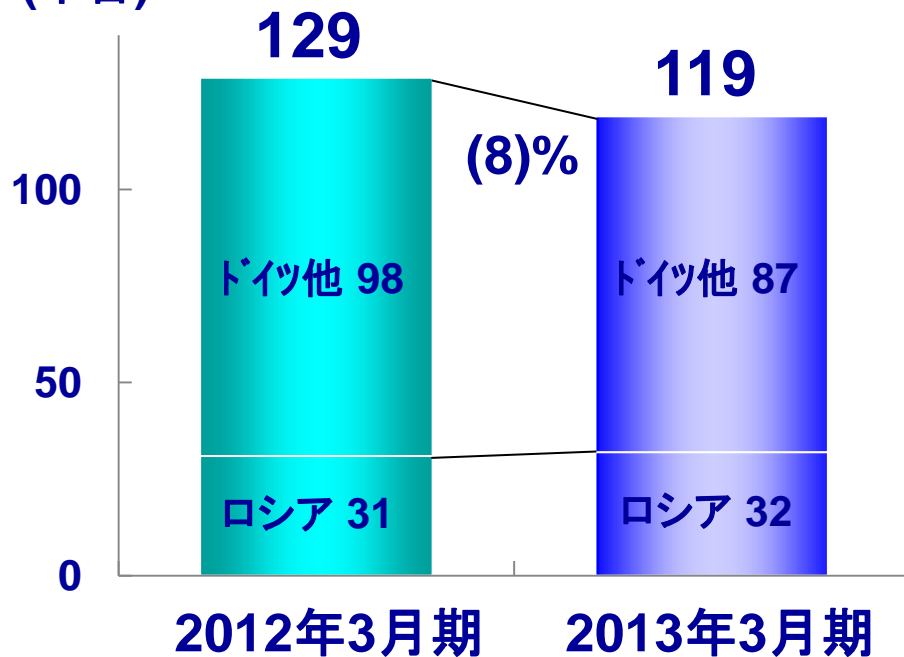


# 欧州



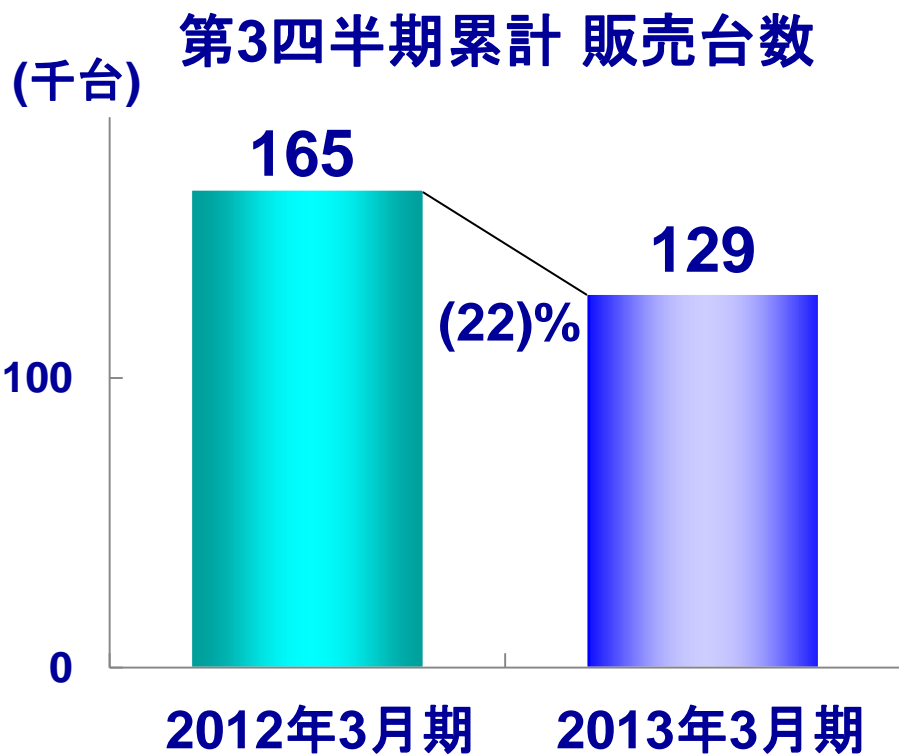
第3四半期累計 販売台数

(千台)



- ▶ 第3四半期累計の販売台数は、11万9千台
- ▶ 新型Mazda6を、ドイツなどで先行導入開始。ドイツでは、Autobild誌のメディアムカー比較評価で1位となるなど、高い商品評価を獲得
- ▶ ドイツ: 新型CX-5の拡販効果により、第3四半期は前年比増
- ▶ ロシア: 対前年3%増の3万2千台。新型CX-5が牽引。10月に新型CX-5の現地生産を開始

# 中国



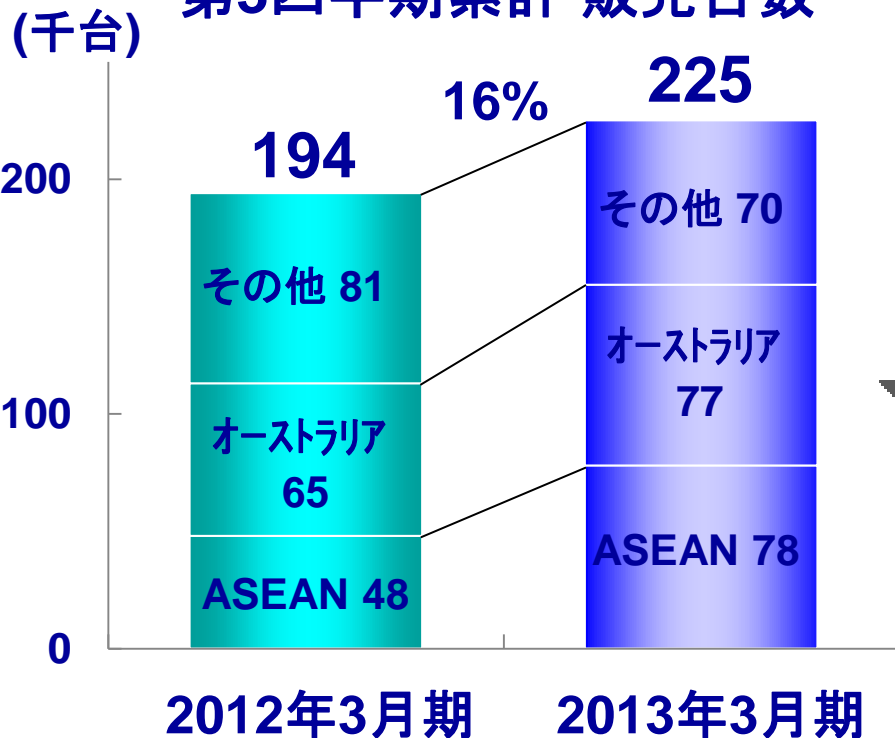
- ▶ 第3四半期累計の販売台数は、12万9千台
- ▶ 販売は中国問題沈静化後、徐々に回復傾向
- ▶ CFMAの分割再編の承認を取得し新会社「長安マツダ汽車(CMA)」を設立
- ▶ 販売店舗数は403店舗に拡大(2012年12月末現在)

# その他市場



新型 CX-9 (豪州仕様)

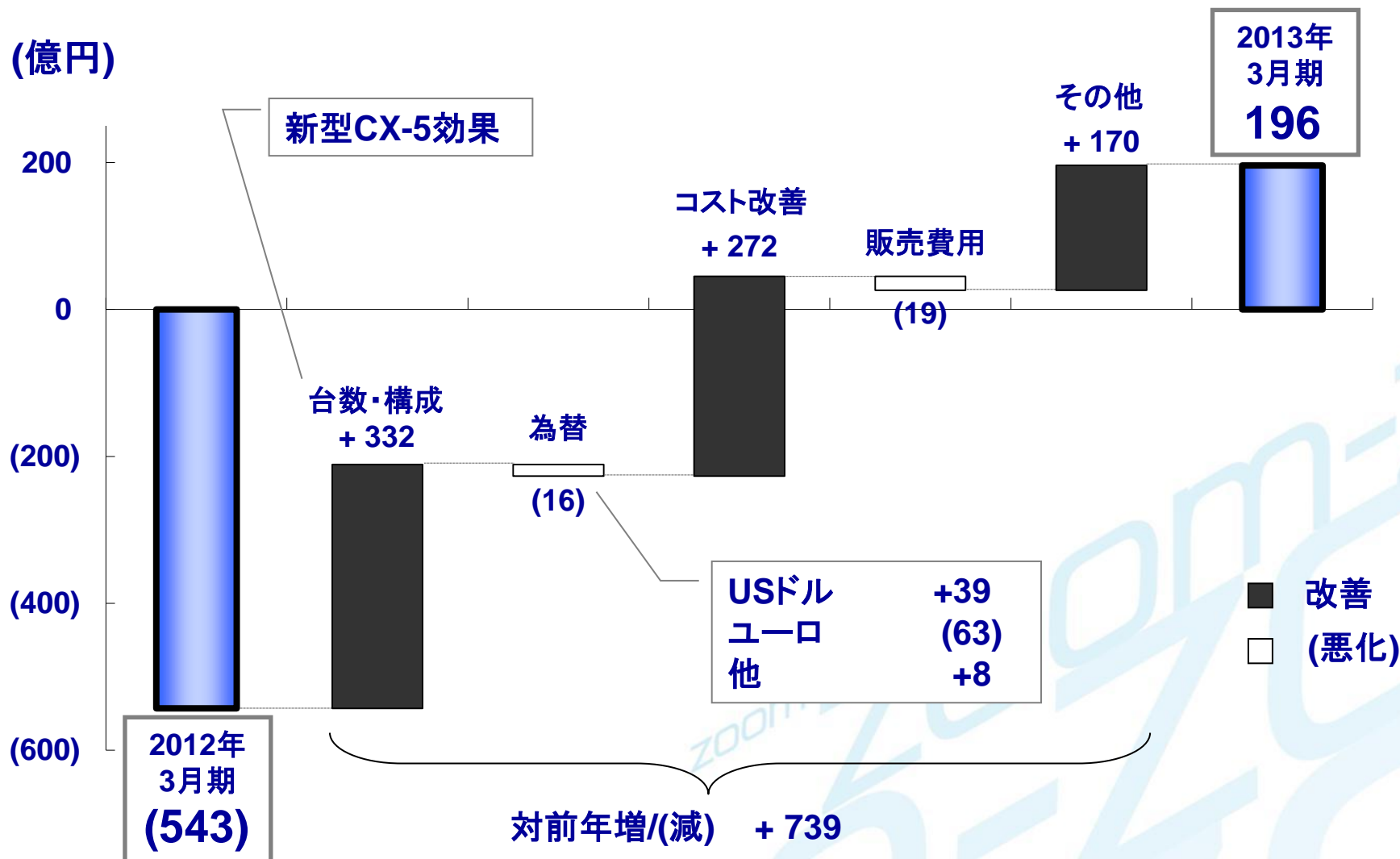
## 第3四半期累計 販売台数



- ▶ 第3四半期累計の販売台数は、対前年16%増の22万5千台
- ▶ オーストラリア: 2012年暦年で、過去最高の販売台数10万4千台と、シェア9.3%を獲得
  - 輸入メーカーで初の10万台超えを達成し、メーカー別販売台数で第3位を獲得
  - Mazda3は2年連続となる、販売No.1モデル
- ▶ ASEAN: 対前年63%増の7万8千台
  - タイでは、対前年86%増の6万台、過去最高の販売台数を達成
  - インドネシア、マレーシアでも過去最高の販売台数及びシェアを獲得

# 営業利益変動

## 2013年3月期 第3四半期累計 対前年比較





# 2013年3月期 見通し

# 2013年3月期 財務指標

(億円)	通期		対前年 増/(減)	対10月公表 増/(減)
	2013年 3月期	2012年 3月期		
売上高	21,900	20,331	1,569	200
営業利益	450	(387)	837	200
経常利益	280	(368)	648	130
税引前利益	330	(553)	883	160
当期純利益	260	(1,077)	1,337	160
売上高営業利益率	2.1 %	(1.9) %	4.0 pts	0.9 pts
為替レート				
US\$/円	81	79	2	1
€/円	104	109	(5)	4

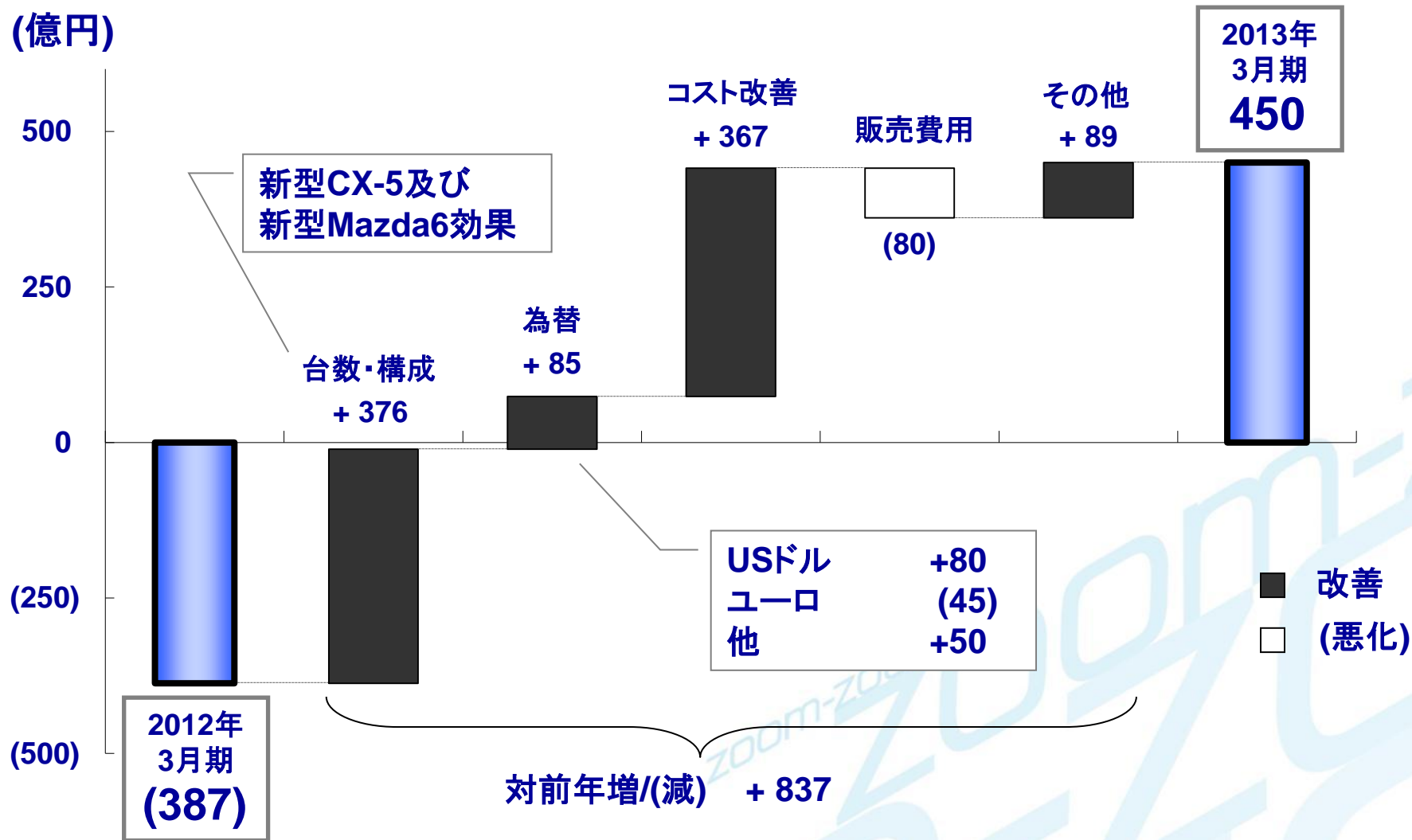


# グローバル販売台数

	通期		対前年 増/(減)	対10月公表 増/(減)
	2013年 3月期	2012年 3月期		
グローバル販売台数 (千台)				
日本	217	206	11	3
北米	380	372	8	(3)
内 米国	280	268	12	0
欧州	177	183	(6)	(5)
中国	170	223	(53)	0
その他市場	306	263	43	0
内 オーストラリア	104	92	12	0
内 ASEAN	106	66	40	0
合計	<u>1,250</u>	<u>1,247</u>	<u>3</u>	<u>(5)</u>

# 営業利益変動

## 2013年3月期 通期 対前年比較





# 第4四半期の販売取り組み (1)

---

## ▶ 日本

- 新型アテンザの販売強化
- 新型CX-5の販売モメンタムの維持
- SKYACTIV技術搭載プレマシーの導入成功

## ▶ 北米

- 新型CX-9の導入成功
- 新型CX-5の2.5Lモデル追加による販売拡大及び  
新型Mazda6の導入成功
- ブランド価値向上を継続・強化

## ▶ 欧州

- 新型Mazda6の本格導入に向けて活動強化
- 供給を拡大した、新型CX-5の販売拡大

## 第4四半期の販売取り組み (2)

---

### ▶ 中国

- 地域モーターショー、試乗会等イベントの積極的活用による販促活動、及び広告宣伝活動の強化
- Mazda3、Mazda6を中心とした販促活動の強化

### ▶ その他市場

- オーストラリア: 2年連続販売No.1モデルのMazda3に加え、新型CX-9、新型Mazda6の導入により、好調な販売を継続
- ASEAN: 地域ではタイ、インドネシア他、車種ではMazda2、新型BT-50、新型CX-5などの販売強化策を実施
- 新型Mazda6導入成功



# 構造改革プラン アップデート

# 構造改革プラン アップデート - 総括

## 中長期見通し(2016年3月期)

営業利益	1,500億円
営業利益率	6%以上
グローバル販売台数	170万台

## 進捗状況

- ▶ 2013年3月期は、全ての利益レベルで黒字を達成
- ▶ 中長期見通し達成に向け、順調なスタート

## 構造改革プラン

- ① SKYACTIVによるビジネス革新
- ② モノ造り革新による更なるコスト改善の加速
- ③ 新興国事業強化とグローバル生産体制の再構築
- ④ グローバルアライアンスの推進

## 進捗状況

- ① SKYACTIV商品は、高い商品力と正価販売により、計画を上回る収益貢献
- ② 投資効率化/コスト改善/外貨建て調達 は計画通り進捗中
- ③ ASEAN/ロシア/中南米の生産・販売体制強化は計画通り進捗中
- ④ 商品/技術/地域の補完を目指すアライアンス計画を公表(トヨタ/フィアット/ソラース等)

# 構造改革プラン アップデート (1)

## SKYACTIVによるビジネス革新

### <新型CX-5>

- 「日本・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞するなど、グローバルに高い評価を獲得。  
販売面でも、グローバルで大ヒット
- 高い商品力、適正価格で、インセンティブ抑制・残価改善、収益改善に貢献
- 生産能力増強、商品追加(北米他に2.5Lモデル導入)による更なる拡販

### <新型Mazda6/アテンザ>

- SKYACTIV搭載車両第二弾の新型Mazda6/アテンザを日本を第一弾として、グローバルに導入
- 日本では発売から約2ヵ月で販売計画台数の9ヵ月分超を受注

▶ 日本では、新しいディーゼル市場を創出



# 構造改革プラン アップデート (2)

## モノ造り革新による更なるコスト改善

- 新型CX-5から始まった新世代商品でのコスト改善は新型Mazda6でも期待通りの成果
- 商品力改善と合わせ、円高下でも利益の出る車造りは着実に前進
- グローバル最適調達、外貨建て調達活動の拡大による、為替変動の耐性強化

zoom-zoom

# 構造改革プラン アップデート (3)

## 新興国事業強化とグローバル生産体制の再構築

- ソラーズ社とのロシア現地生産開始(2012年10月生産開始)
- 中国事業再編を実施(2012年11月承認)
- メキシコ工場建設は順調に進展、更なる能力増強を決定  
(稼働:2013年度第4四半期、能力増強:2015年度)
- タイに新トランスミッション工場建設を決定  
(稼働:2015年度上期)

## グローバルアライアンスの推進

- メキシコ工場でトヨタブランド車を生産(2015年夏 生産開始)
- フィアット社との協業に関する事業契約を締結(2015年 生産開始)
- 日産にSKYACTIV技術搭載車を供給

# まとめ

---

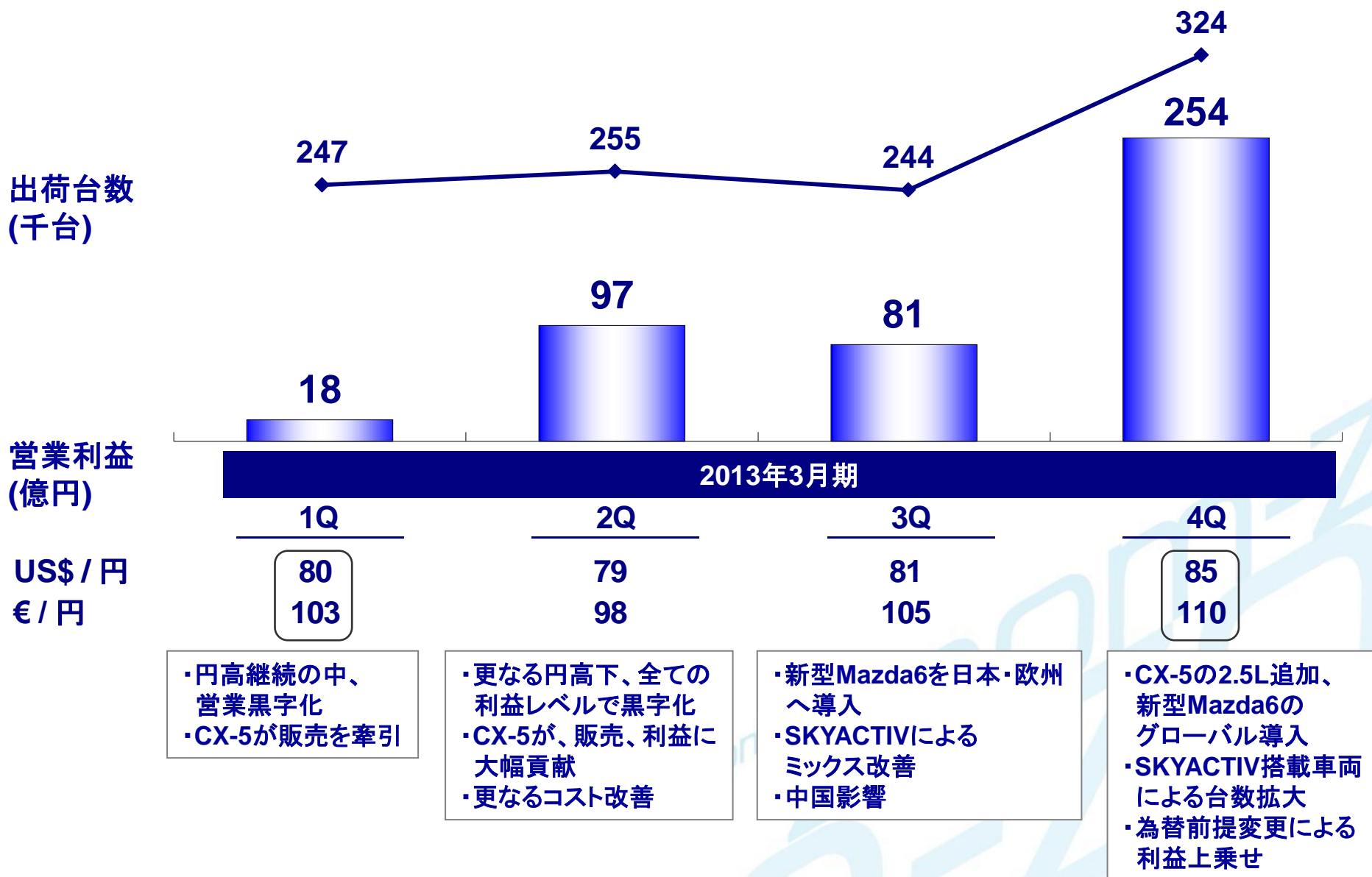
## <第3四半期累計実績>

- ▶ 売上高は1兆5,352億円、営業利益は196億円、当期純利益は256億円
- ▶ 販売好調な新型CX-5が、業績改善に大きく貢献

## <通期見通し>

- ▶ 売上高及び全ての利益レベルで上方修正
- ▶ 売上高2兆1,900億円、営業利益450億円、当期純利益260億円の見通し
- ▶ SKYACTIV搭載車両が、収益拡大に大きく貢献
- ▶ 構造改革プランは着実に進捗

# SKYACTIV搭載車両の販売拡大により、円高環境下でも利益が拡大





**mazda**





添付

### 目的

拡大する中国市場のニーズに対応し、事業構造や運営体制の最適化による、ビジネス強化を図る

### 事業概要

- ▶ 新会社名: 長安マツダ汽車有限公司 (CMA)
- ▶ 設立日: 2012年11月30日
- ▶ 本社所在地: 南京市
- ▶ 出資比率: 長安汽車とマツダで50:50
- ▶ 生産能力: 年間22万台



## 上期決算発表以降のトピックス ②メキシコ新工場 の能力増強

### 目的

海外生産能力強化の一環として、トヨタブランド車生産に加え、グローバルで好調なSKYACTIV車の販売増に対応

### 能力増強

2013年度  
第4四半期  
稼働

14万台



2015年度  
能力増強  
9万台\*追加

23万台\*

### 事業概要 (2015年度時点)

- 投資額: 約6億5千万ドル
- 生産車種: Mazda2、Mazda3、トヨタブランド車
- 供給地域: 北米、中南米
- 所在地: グアナファト州 サラマンカ市



## 上期決算発表以降のトピックス ③フィアットとの協業

### 目的

マツダブランド強化に向けた事業・技術提携によるグローバル  
アライアンスの推進

### メリット

- オープン2 シータースポーツカーの開発および生産効率の向上
- フィアットとの協業により、ブランドイメージの向上及びこのセグメントの活性化への貢献

### 事業概要

フィアット傘下のアルファ ロメオ向けオープン2シータースポーツカー  
を開発・生産

- ベースモデル: 次期マツダ ロードスター
- 生産開始時期: 2015年
- 生産拠点: マツダ広島本社工場

## 目的

SKYACTIV車の需要増に対応し、より強固なグローバル生産体制を確立

## 事業概要

- 新会社名: Mazda Powertrain Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. (MPMT)
- 本社所在地: タイ王国 チョンブリ県
- 事業内容: マツダ車向けトランスミッションの製造・販売
- 生産開始: 2015年度上期
- 生産機種: SKYACTIV-DRIVE (オートマチックトランスミッション)
- 生産能力: 年間40万基
- 投資額: 約260億円

# 2013年3月期 財務指標

(億円)	2013年3月期			
	第3四半期	第4四半期	下期	通期
売上高	5,117	6,548	11,665	21,900
営業利益	81	254	335	450
経常利益	210	66	276	280
税引前利益	228	29	257	330
当期純利益	199	4	203	260
売上高営業利益率	1.6 %	3.9 %	2.9 %	2.1 %
為替レート				
US\$ / 円	81	85	83	81
€ / 円	105	110	107	104

# グローバル販売台数

2013年3月期

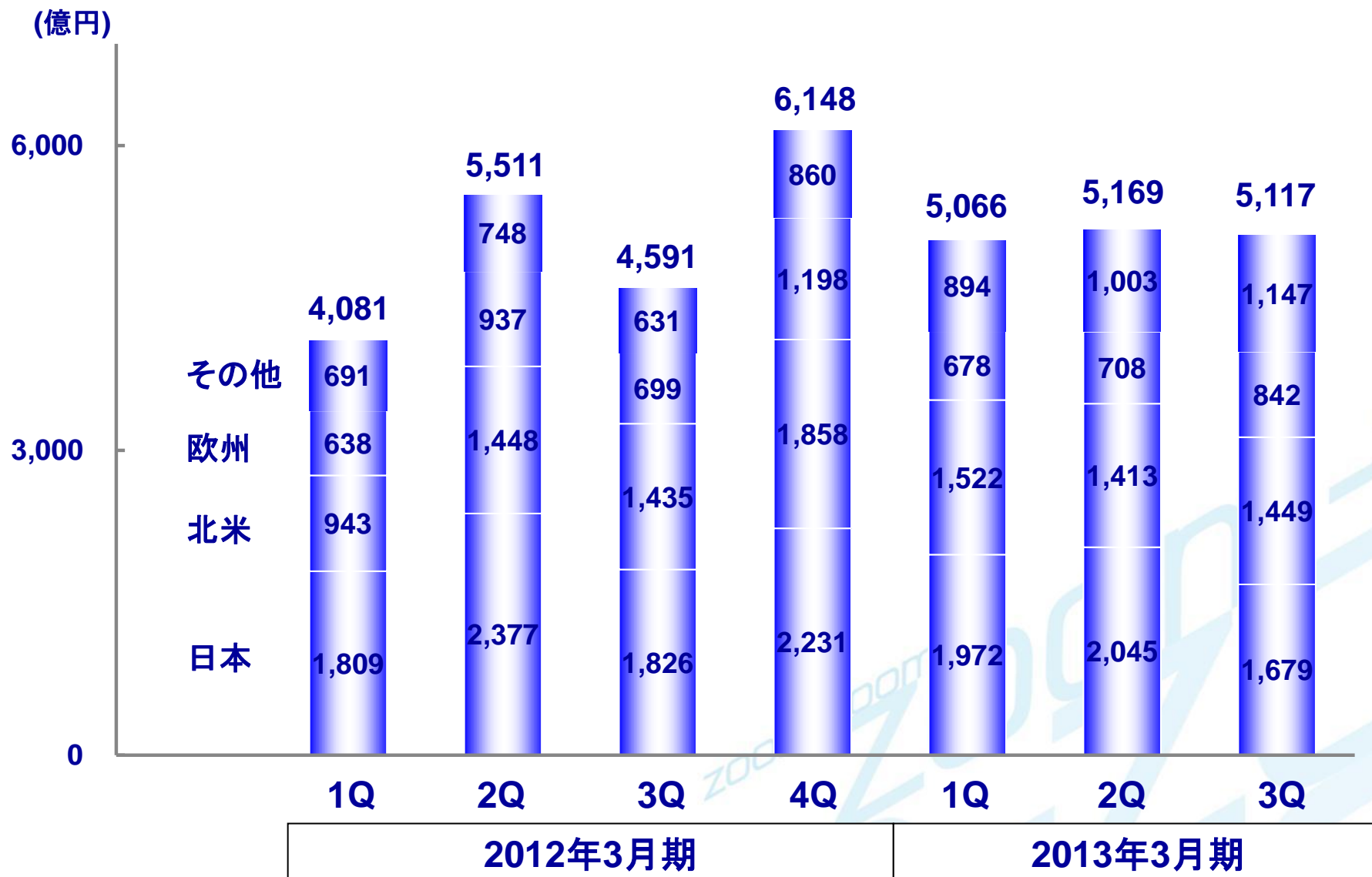
	<u>第3四半期</u>	<u>第4四半期</u>	<u>下期</u>	<u>通期</u>
グローバル販売台数 (千台)				
日本	40	67	107	217
北米	88	110	198	380
内 米国	68	85	153	280
欧州	34	58	92	177
中国	39	41	80	170
その他市場	79	81	160	306
内 オーストラリア	26	27	53	104
内 ASEAN	29	28	57	106
合計	<u>280</u>	<u>357</u>	<u>637</u>	<u>1,250</u>

# キャッシュフロー及び純有利子負債

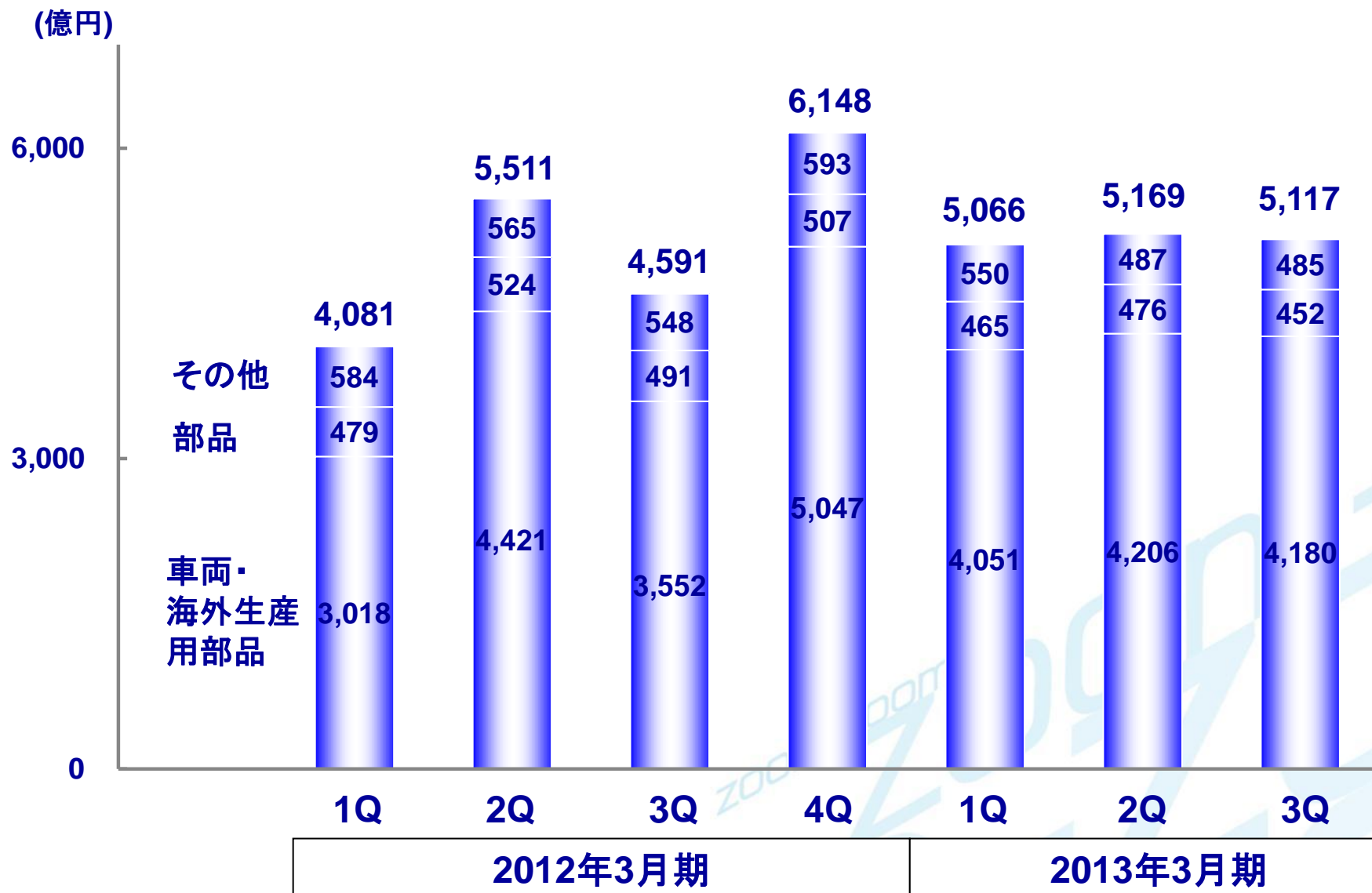
(億円)	2013年3月期			対前期末 改善/(悪化)
	上期	第3四半期	累計	
キャッシュフロー				
- 営業	(117)	(141)	(258)	-
- 投資	(79)	(139)	(218)	-
- フリーC/F	(196)	(280)	(476)	-
現金及び現金同等物	4,204	4,210	4,210	(563)
純有利子負債	3,243	3,451	3,451	(443)
純有利子負債 自己資本比率	68 / 56* %	72 / 60* %	72 / 60* %	(8) / (7)* pts
自己資本比率	26 / 28* %	25 / 27* %	25 / 27* %	1 / 1* pts

\* 劣後特約付ローンの資本性考慮後

# 売上高 所在地別



# 売上高 製品別

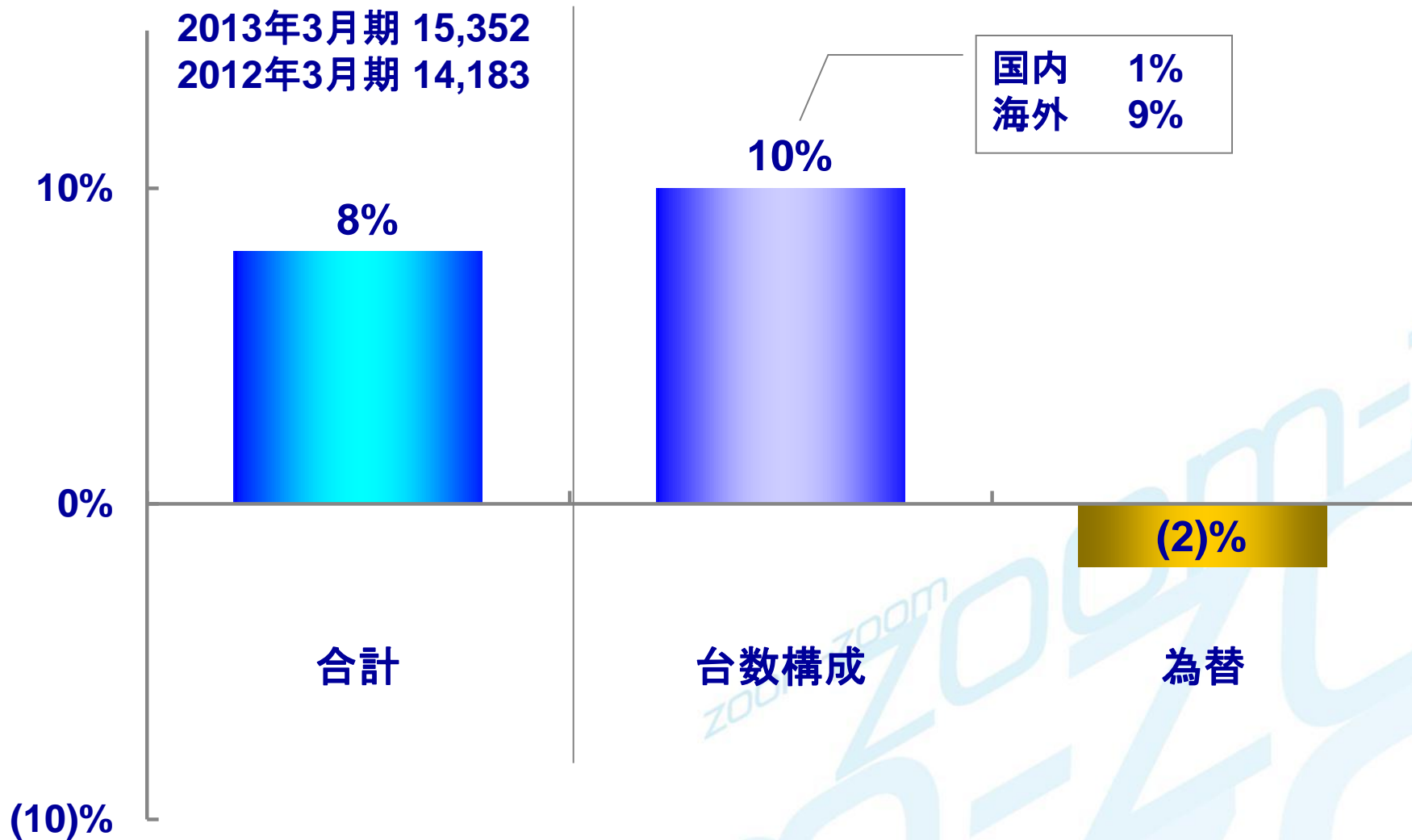


# 売上高変動内訳

## 2013年3月期 第3四半期累計 対前年比較

(億円)

2013年3月期 15,352  
2012年3月期 14,183

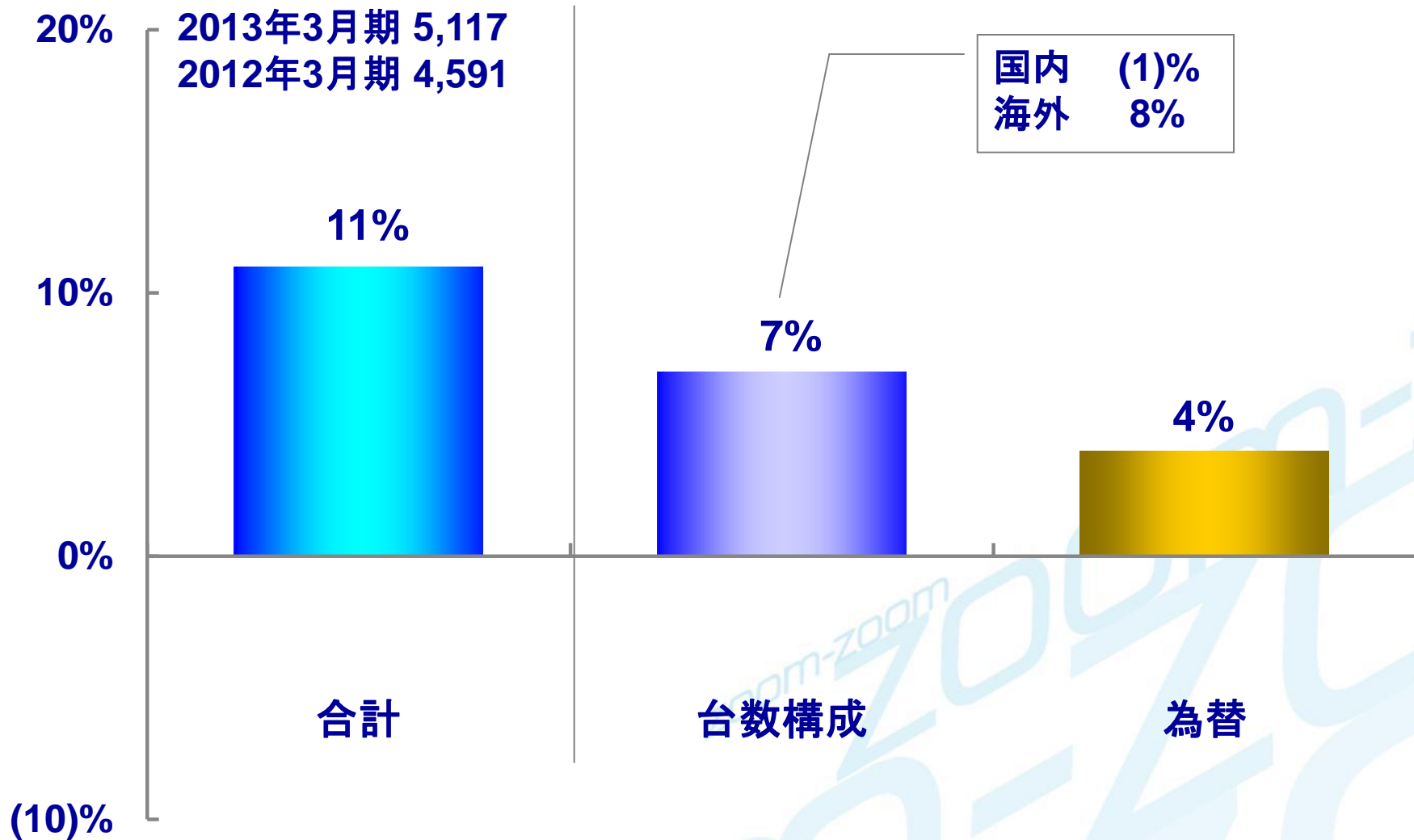




# 売上高変動内訳

## 2013年3月期 第3四半期 対前年比較

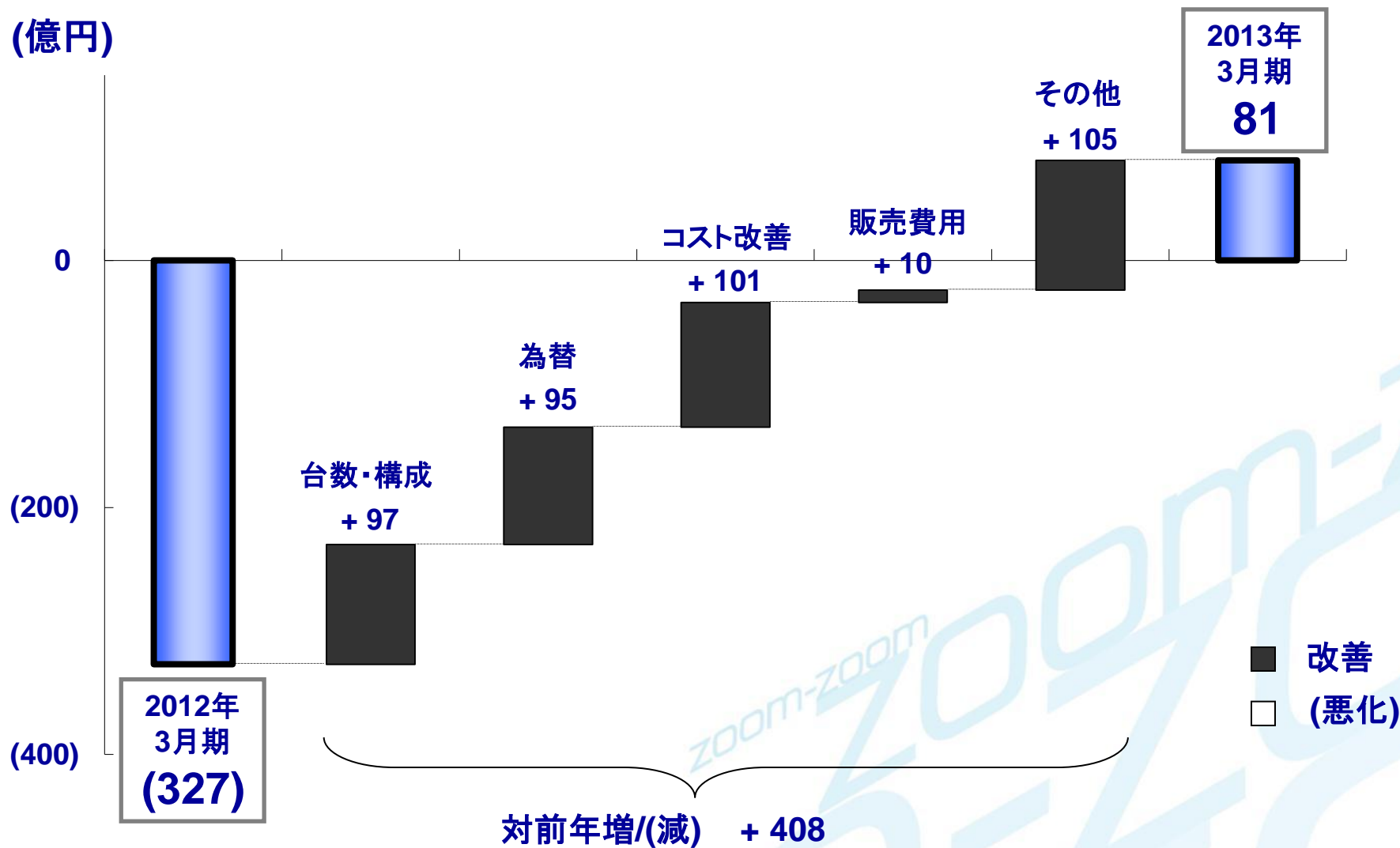
(億円)



# 営業利益変動

## 2013年3月期 第3四半期 対前年比較

(億円)



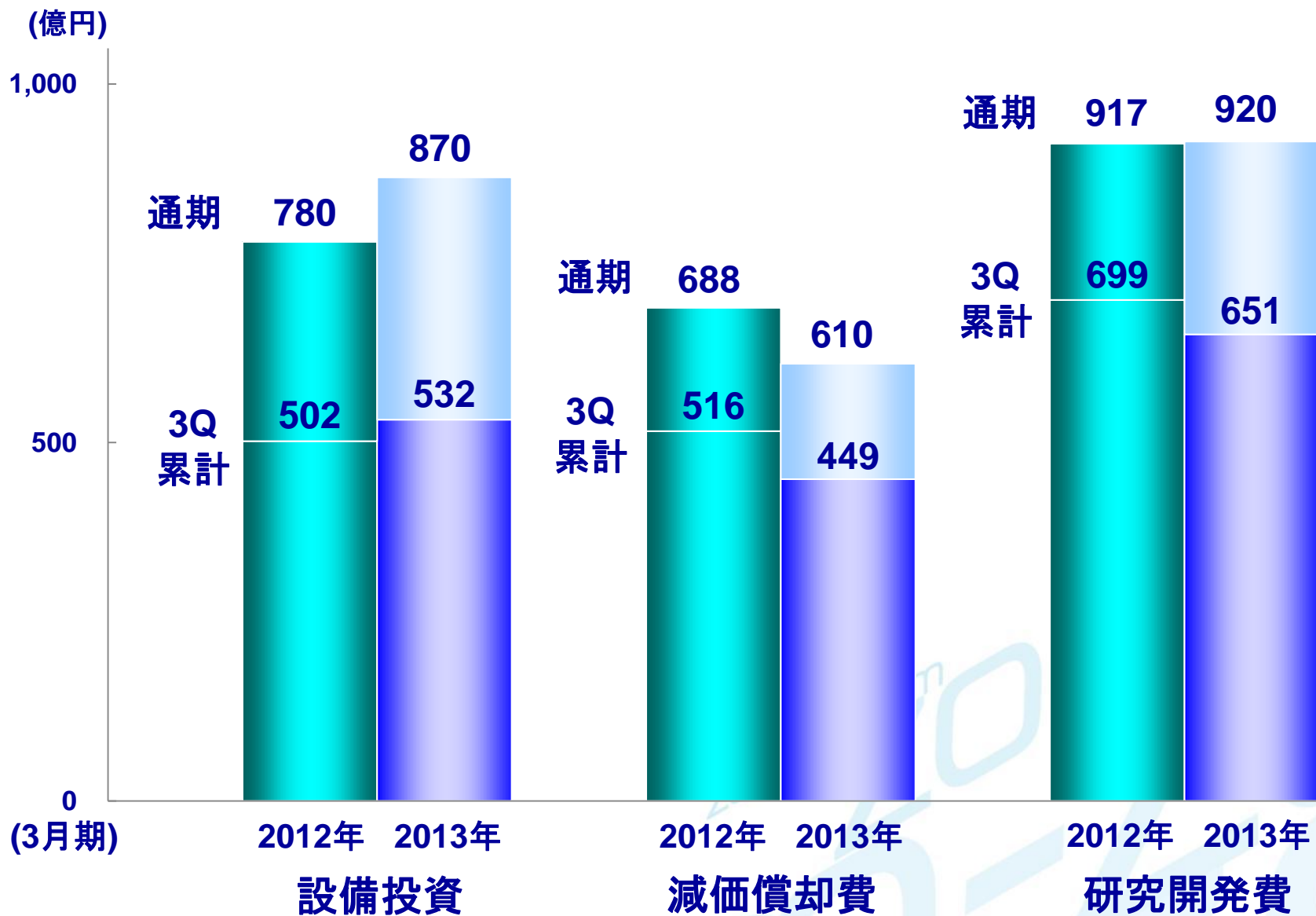
# 連結出荷台数

	2013年3月期			第3四半期累計 対前年 増/(減)
	上期	第3四半期	累計	
連結出荷台数 (千台)				
日本	115	42	157	2
北米	175	86	261	17
欧州	68	38	106	(5)
中国	2	1	3	(6)
その他市場	142	77	219	37
合計	502	244	746	45

# グローバル販売台数及び連結出荷台数

	2013年3月期			対前年 増/(減)			対10月公表
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増/(減) 通期
<b>グローバル販売台数 (千台)</b>							
日本	110	107	217	15	(4)	11	3
北米	182	198	380	0	8	8	(3)
欧州	85	92	177	(6)	0	(6)	(5)
中国	90	80	170	(17)	(36)	(53)	0
その他市場	146	160	306	17	26	43	0
合計	<u>613</u>	<u>637</u>	<u>1,250</u>	<u>9</u>	<u>(6)</u>	<u>3</u>	<u>(5)</u>
<b>連結出荷台数 (千台)</b>							
日本	115	112	227	6	(5)	1	0
北米	175	201	376	23	(9)	14	0
欧州	68	97	165	(6)	0	(6)	(5)
中国	2	2	4	(6)	0	(6)	0
その他市場	142	156	298	15	36	51	0
合計	<u>502</u>	<u>568</u>	<u>1,070</u>	<u>32</u>	<u>22</u>	<u>54</u>	<u>(5)</u>

# 主要データ



## 将来見通しに関する注意事項

---

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。